2026年9月13日 開催

第30回八戸大会 & 第12回LW研究会
公開講演会「尊厳ある生と死」

アンケート集計・報告書

講師：小倉 和也 氏 ｜ 座長：今 明秀 氏

主催：日本尊厳死協会 東北支部

【開催概要】

八戸大会・LW研究会のプログラム

日時・会場

日時：2026年9月13日(日) 13:30〜15:15

会場：八戸市 ユートリー 多目的ホール

対象：自由参加（参加費無料）

演題・登壇者

演題：**「尊厳ある生と死」**

第1部 講演

講師：**小倉 和也 氏**（医療法人 はちのへファミリークリニック 理事長・院長）

座長：**今 明秀 氏**（八戸市立市民病院事業管理者）

第2部 質疑応答：会場との対話・議論

【参加実績】

参加者数およびアンケート回収実績

総参加者数

88名

（一般83名＋関係者5名）

アンケート回収数

49件

（紙44件＋Web5件）

アンケート回収率

55.7%

（高い関心を反映）

【回答者属性 ①】

一般市民（非会員）が約8割を占める

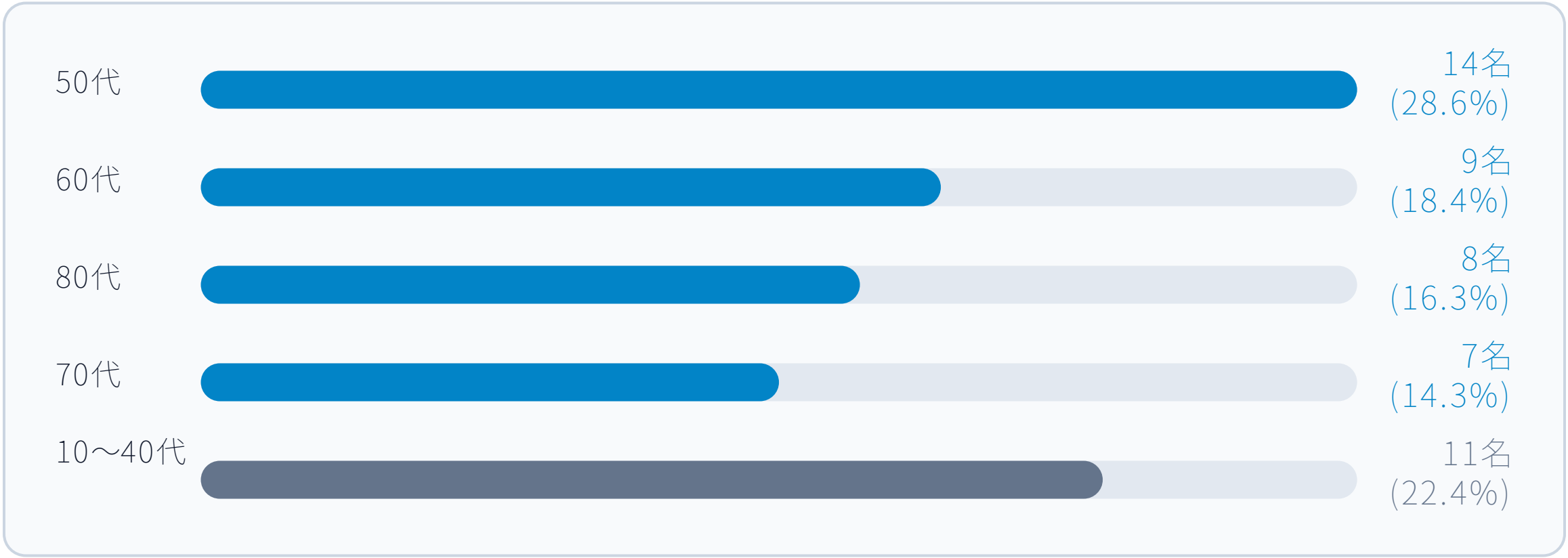
■ 一般参加者（非会員） 38名（77.6%）

■ 尊厳死協会 会員 11名（22.4%）

八戸地域の一般市民・医療介護関係者へ深く周知・還元できた成果を示しています。

【回答者属性 ②】

年代構成：50代を中心に幅広い層が参加



【認知経路】

本講演会を何でお知りになりましたか？

DM・病院・新聞等

30名

(61.2%)

協会会報誌

10名

(20.4%)

友人・Web・他

9名

(18.4%)

【参加地域】

参加者の居住地域分布

八戸市内

32名

全体の 65.3%

青森県内（八戸市以外）

16名（32.7%）

青森県外

1名（2.0%）

【集計成果】

八戸大会・LW研究会の主要成果

① ICT連携への感銘

八戸地域での「コネクト8」を活用した医療介護情報共有システムに高い評価が集中しました。

② ACP（意思決定）

「本人の望む生き切り方」を家族・多職種で共有し尊重することの重要性を再認識しました。

③ 討論への高い満足

今明秀先生と小倉和也先生による明快で臨床に即したアドバイスに賞賛が寄せられました。

【参加者の声 ①】

医療介護連携「コネクト8」と在宅医療への評価

看護職・病院勤務（50代）

「コネクト8の多職種連携が患者様の尊厳を守ることに大きく貢献していると知り感銘を受けました。看護の場でも情報共有ツールとして活用していきたいです。」

在宅ケア関係者（60代）

「八戸市は安心して在宅医療を受けられる環境が整っていると実感しました。認知症ケアや精神疾患対応など、更なる協力体制の進展にも期待します。」

【参加者の声 ②】

本人の意向尊重と多職種検討の重要性

本人の生き方を看取る（50代）

「一人ひとりの人生を知ることが尊厳を守るケアにつながる。自分の望む生き方が尊重される医療・介護の重要性を学べた。」

施設看護師（30代）

「本人の意向を聴き、ご家族や介護職と多職種で繰り返し検討を重ねるプロセスそのものが大切なのだと確信できました。」

【第2部 質疑応答 ①】

意思決定困難時・医療者の支援の姿勢

会場からの質問

・意思決定が困難な患者・身元保証人のいない方の意思決定はどう進めるか？

・医療者の主観に偏らないよう、支援時に心がけるべき指標は何か？

アドバイスの要旨

【多職種チームによる対話】
単独で判断せず、普段の生活背景を知る多職種で本人の推定意思を丁寧に検討します。

【意思決定プロセスの共有】
厚生労働省のガイドラインに基づき、結論だけでなくプロセスの妥当性を担保します。

【第2部 質疑応答 ②】

ご家族の葛藤・戸惑いへの支援とグリーフケア

会場からの質問

・看取りの経過で（水分摂取制限や変化に対し）戸惑い苦しむ家族へどう関わるか？

・お看取り後、地域包括ケアや多職種としてどのようなグリーフケアが必要か？

アドバイスの要旨

【自然な経過の説明とねぎらい】

苦痛を和らげる医学的根拠をわかりやすく伝え、家族の選択を肯定し続けます。

【継続的な地域の見守り】

看取り後も孤立させず、地域包括や訪問看護等が適切な頻度で傾聴機会を保持します。

【第2部 質疑応答 ③】

スピリチュアルケアと適正医療のあり方

スピリチュアルケアの要素

医療・介護・福祉の連携に加え、命の意味や苦痛に向き合う精神的支援（スピリチュアルケア）を地域全体で包括していく必要性が強調されました。

適正医療・多剤処方への視点

高齢・認知症の患者様への処方見直し等、医療者が尊厳ある生と死に常に関心を持ち、患者本位の医療を提供することの重要性が討議されました。

【次回への要望】

参加者から寄せられた今後の開催テーマ



認知症・精神疾患ケア

認知症患者の在宅対応や地域協力体制の構築についてのテーマ



ACP実践ワークショップ

本人が意思決定できない場合の具体的な流れを体験・演習する企画



家族への意思決定支援

本人と家族の意向が食い違う場合や、喪失感への多職種支援

第30回八戸大会・第12回LW研究会 総括

本大会を通じ、八戸地域における先駆的な多職種連携・ICT活用の強みが示されました。

ご参加・ご回答いただいた皆様へ心より御礼申し上げます。

日本尊厳死協会 東北支部